

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理国費対象市負担事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	まちづくり推進課				
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	小野 満寿夫				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	運動公園周辺地区土地区画整理事業	意図	道路・公園等の公共施設及び宅地整備を進め、つくばエクスプレス沿線整備の促進を図り、良質な市街地を形成する。
事業内容	土地区画整理事業施行者との費用負担協定に基づき、国庫補助対象事業費の国費裏の1/2を費用負担するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	土地区画整理事業の整備が進み、つくばエクスプレスの開業及び駅前広場、幹線道路の供用が開始された。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		進捗率		47.30	53.20	%	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	幹線道路の整備により、地域間の道路ネットワークが整備され、新たな公共交通機関の参入や周辺道路の渋滞解消、生活道路への車両進入抑制が図れている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成28年度末事業費ベース進捗率53% ・三輪野山、市野谷地区では、宅地整備が進み、保留地販売が促進された。		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	378,993,985	269,807,800	440,620,900				
事業費(b)(円)	378,579,385	269,356,000	440,209,000				
うち一般財源	133,479,385	27,056,000	10,509,000				
職員給与費(c)(円)	414,600	451,800	411,900				
人役・職員(人)	0.06	0.06	0.06				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	施行者及び関係機関と連携し、事業の促進を図る。	取組の課題	平成34年度末の工事完成を目指し、段階的な展開が必要である。
今年度(H28)に実施した取組	土地区画整理事業の計画的な事業の促進のために、施行者と協力し、関係権利者への説明会の開催や関係機関との協議を行った。	今後の改善計画	地区の骨格となる幹線道路を平成29年度までに概成させるため、施行者及び関係機関と連携し、事業の促進を図る。